

動機づけ面接の学習コミュニティを作る 動機づけ面接学習者ネットワーク(MINT)からのガイダンス

背景

ラーニング・コミュニティとは？

学習コミュニティや学習ネットワークは、同じ分野で実践している、または実践を発展させることに関心のある実践者やトレーナーの現実または仮想のネットワークです（この場合、動機づけ面接）。コミュニティは、リソースとリソースのための家、また実践の開発のためのフォーラムの両方にすることができます。

動機づけ面接とは？

動機づけ面接は、人々が進むべき道について非常にあいまいな気持ち(ambivalent, 両価性)を持っている場合に、行動を変えるよう支援するためのアプローチです。これは、個人の変化に対するモチベーションを促進するために、支援者が使用するカウンセリングの会話スタイルです。より正式な定義は以下の通りです。

動機づけ面接は、変化の言語に特に注意を払った、協力的で目標指向のコミュニケーションスタイルです。受容と思いやりのある雰囲気の中で、その人自身の変化の理由を引き出し、探求することによって、特定の目標に対する個人の動機づけとコミットメントを強化するために考案されている。"

ミラー&ロールニック 2012

誰が動機づけ面接を実践しているのか？

MI は、主に薬物やアルコールの分野で使用されていたアプローチとして始まりました。そして、今日、多くの国で、薬物やアルコールへの介入における優れた実践のための重要な柱の 1 つと見なされています。しかし、長年にわたって、MI はさまざまな分野の実践者によっても使われてきました。例えば、刑務所のサービス、メンタルヘルス、子育て、予測的ケア、健康行動変容の取り組みなど、実践者が人々の生活の変化をサポートするあらゆる場面で利用されています。そのリストは膨大です。

MINT とは（そして何を提供するのか？）

Motivational Interviewing Network of Trainer (MINT)は、MI の「ホーム」です。
<https://motivationalinterviewing.org/> これは新しい MI トレーナーのために、MINT が承認したトレーニングを提供する国際的なネットワークです。しかし、非常に重要なことは、MI への情熱と信念から、他の実践者を訓練し、その発展を支援したいと考える熟練した MI 実践者のための討論、共有、発展のための現実と仮想のフォーラムを提供することである。MINTies の多くは、良い実践の文化を創造し、影響を与えたいと考えており、より良い実践をするために、常に自分自身の実践に疑問を持ち、それを拡張していくことを心がけている。また、最高のトレーナー、教師、ガイド、コーチになることに全力を注いでいます。彼らは、優れたトレーナーであることは、優れたプラクティショナーであること以上に重要であることを認識しています。

MINT は、まさに参加者主導で形成された組織なのです。MINT は、MI と MI トレーニングに関する最新の考え方と実践を提供します。しかし、それ以上に、世界中にいるメンバーによって、リアルタイムでもバーチャルでも、人々がコミュニティとして集うユニークな機会を提供しています。

MINT Incorporated は、毎年世界各地で TNT (Training for new MI Trainers) を開催し、同時に世界中から MINT が集まり、学びと笑いを共有し、モチベーション・インタビュー実践の方向性を共同で形作るフォーラムを開催しています。学んだことを地域のラーニングコミュニティに持ち帰る。

MINT のメンバーは、フォーラムでの発表、TNT の実施、MI の品質向上に取り組む多くの MINT 委員会への貢献、MI が十分に確立されていない地域への働きかけなど、様々な方法で参加することができます。MINT は現在、世界各地にある MINT 支部や関連団体を支援・推奨しています。あなたの地域の MI 学習コミュニティが支部となり、あなたの国の MI の公式な声となる可能性があります。詳細については、The Motivational Interviewing Advisory Committee miac@motivationalinterviewing.org までお問い合わせください。

MI 実践者のコミュニティになる

このガイドラインでは、動機づけ面接の4つのプロセス（関与、焦点化、喚起、計画）を使って、学習コミュニティがどのように発展していくかを考えていきます。

A. エンゲージメント

参加、継続的な関与、継続的な関係をどのように促進しますか？

例えば、参加者が連絡を取り合うだけのトレーニングコースなど、非常に小さな始まりからコミュニティは発展していくかもしれません。あるいは、同じ志を持つ実務家と一緒にネットワークを計画し、セミナーやカンファレンスなどのイベントで立ち上げることもできます。どのような始まりであれ、コミュニティとは**人間関係**のことです。同じ興味や経験を持ち、互いに協力し合いながら発展していこうとする人たちの共同作業です。それを育む必要があります。すべてのメンバーが平等な参加者であると感じ、差別やスティグマを受けることなく、平等に参加する機会を持つことが必要です。

そして、すべてのコミュニティがそうであるように、より多くの人々が貢献すればするほど、人々はつながりを感じ、他の人々が学ぶのを助けることができ、他の人々から学ぶことができるようになります。パートナーシップ、喚起、受容、思いやりといったMIの「精神」に忠実であることが、関わり方の良い指針になる。

また、MIに忠実であることは、資産、または強さに基づいたアプローチを取る必要性である。これは、地域社会のネットワークのすべてのメンバーの強みを特定し、認め、利用し、それを土台とすること、また、地域社会が利用できるより広範な資産を特定することを意味する。

つながりをつくる

人々を結びつける方法。

- バーチャルな接触：ソーシャルメディアやウェブベースのコミュニティサイトを利用する。スカイプやズームは、オンラインでリアルタイムに会議を行い、参加者全員の顔を見たり、画面を共有したり、会話を録音したりすることができる素晴らしい方法です。コミュニティが広範囲に及んでいる場合、バーチャル・コンタクトを利用することで、誰もが参加意識を持ち、お互いを知ることができます。
- ミーティング、トレーニング、セミナー、ワークショップ、開発デーに集みましょう。
- 目標や価値観を確認し、計画を立てる。個人と共有の責任を明確にする。責任分担を明確にする。
- コーチンググループは、実践に目を向けるために集まる素晴らしい方法です。これらは特定のMIコーチが指導することもできますし、参加者が指導することもできます。
- 一緒にトレーニングすることで、強い絆を作ることができます。

グループのアイデンティティと目的を発展させるには、常に注意と時間が必要です。John Adairが定義、説明するモデル（商標登録済）で3つのグループニーズについて考える事は価値があるかもしれません。

Adair は、グループが効果的に機能するためには、3つの主要な領域を考慮する必要があり、グループ内の機能不全は通常、これらの領域のいずれかを無視していることに起因すると述べています。

Adair's Model of Group Needs



- **タスクの達成** - 明確さがあるか？合意はあるか？計画はあるか？
- **チームやグループの管理** - 価値観、規範、文化は共有されているか？効率的なコミュニケーション方法はあるか？全員が参加しているか？
- **個人を管理する** - 個人のニーズはどのように満たされているか？すべての人を感じているか？

B. フォーカシング

C.

長期にわたってグループを維持できるような、共通の目的意識をどのように育むのでしょうか？

目的の明確化が重要である。グループは、一緒にビジョンの感覚を開発することができるかもしれません。あなたの職場や地域における MI についてのビジョンは何ですか？このグループのビジョンは何ですか、そして、どのようにそれに貢献することができますか？メンバーは、このグループがどこに向かっているのか、具体的には、地域や地方、そして実践共同体のメンバーである自分たちに何を提供できるのかを知る必要がある。これは、すべて一緒に開発するために時間がかかります。

また、メンバーは、自分たちの活動の指針となるべき共通の価値観や原則を確認したいと思うかもしれません。

いくつかの可能な目標および目的：

MI ラーニングコミュニティの**全体的な目標**。

- 特定の地域または地方の適切な環境において、MI を用いた優れた実践の文化に影響を与えること。

以下の中から**目的**を選ぶことができます。

- 動機づけ面接の実践に関する学習、議論、発展のためのフォーラムを提供すること。
- 知識、サポート、経験を共有することによって、個々の実践者がモチベーション・インタビューの実践に関する知識を深め、能力を開発し、自信を深めることができるようにする。
- 実践者個人が、MIに関する姿勢や価値観を探求することができるようにする。
- 実践者が他者とのつながりを持てるようにする。
- 実践者が日々の仕事の中でMIの役割を考えることができるようにする。
- 職場でMIを実践できるMIチャンピオンを発掘する。
- 実践者が、行動変容のための他のアプローチを補完し、支える上でのMIの役割を理解できるようにする。行動変容のための他のアプローチの基礎となる
- 実践者が、MIの価値と原則、およびそれらの日常業務への適合性(整合性)を検討できるようにする。
- MIを実施する際の公平性と包括性のガイドラインについて、共通の合意を得る。

MIを実施する際の公正さと包括性（機会の平等の確保、文化的感受性、平等と多様性の保護、不公平の影響の軽減）に関するガイドラインについて、共通の合意を形成すること。

- 共有の学習と開発のための機会を作ること
- コーチングとフィードバックの機会を設ける
- MINTのトレーナーの育成と、MINTの組織への関与の機会を設ける。

MINTトレーナーを育成し、必要に応じてMINT支部を設立する。

適切である。

- MIに関する情報、実践例、討論のための現実または仮想のホームを提供する。

討論の場を提供する。

- MIトレーナーとしての訓練を受けることができるMI実践者のバンクを提供すること。

学習共同体のための原則および価値

あなたが一緒に働く方法において最も重要なことは何であるか。例えば

パートナーシップ、尊敬、参加、開放性、機会の平等、民主主義、品質保証、明確でシンプルな言葉の使用。

MINTには、明確な言語を使用するためのガイドライン（GROAN）があります。また、意識的・無意識的な偏見や不公正を避けるためのガイドラインもあります。これらは、平等と多様性のガイドラインです。あなたのコミュニティでは、これらがどのような意味を持つのか、考えてみるとよいでしょう。

また、MIを使って健康格差に対処する、あるいは拡大させないことを約束し、それがどのようなものかを考えることができます。

D. 喚起

E.

学習そのものをどのように促進するか？地域社会が共に学び、成長するために何が役立つか？

能力と自信の開発 MIに関する基本的な情報へのアクセス。

・ウェブサイト (<https://motivationalinterviewing.org/>) で MI 関連の多くの情報を得ることができます。主要な手引書は、**Motivational Interviewing: Helping People Change** (3rd edition 2013), by Steve Rollnick & William Miller. この本は、すでに多くの言語に翻訳されていますが、あなたの言語に翻訳してもらうと非常に便利でしょう。このガイドの最後には、他の参考文献もあります。

MI のプラクティショナー・トレーニングにアクセスする。

- MINT のメンバーリストを通じて、あなたの地域でトレーニングを提供してくれる人の依頼を回すことができます。もし誰もいない場合は、以下からお問合せ下さい admin@motivationalinterviewing.org MI トレーナーの中には、費用だけでやってくれる人もいれば、有料でやってくれる人もいます。MINT の委員会である MIAC (Motivational Interviewing Advisory Committee) は、新しい地域コミュニティについて知ることを好み、支援できるかもしれませんので連絡を取ってみるのもよいでしょう。

MI をしているか、どのように分かりますか？

私たちが知る最も重要なことの一つは、トレーニングコースに参加するだけでは能力を開発することはできないこと、トレーニング後に実践し、測定することが不可欠なことです。そのための方法はいくつもあります。

- 自己評価と相互評価 - 優れた実践には何が必要なのか？実践を精査するためのモデルやコーディングツールはたくさんあり、MINT のウェブサイトに掲載されています。

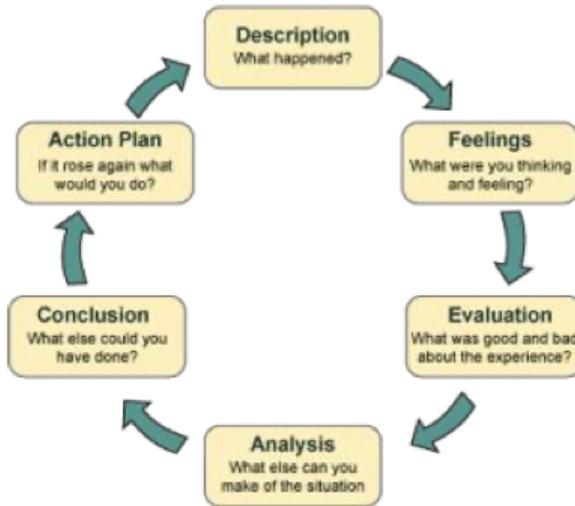
<https://motivationalinterviewing.org/motivational-interviewing-resources>

コーディングツールは、コーチングやフィードバックと並んで、特定のスキルやコンピテンシー、およびそれらの熟練度に焦点を当てることで、MI の実践を発展させるものです。例：MITI 4 ; MICA; MIA-STEP; 'MI-Practice Blueprint' http://www.jeffallison.co.uk/assets/Uploads/MI- PBJuly2016_3.pdf その他、現地で作成した自己・相互評価者を見つけることもできるでしょう。

- リフレクティブ・プラクティショナーであること。一歩下がって、自分の仕事はどうだったかを考える時間を十分にとってください。うまくいったこと、うまくいかなかったことの両方から、何を学びましたか？このことは、あなたの今後の実践にどのような意味を持つのでしょうか。特に何を開発する必要がありますか？ギブのリフレクティブ・サイクルを参照してみましょう：

<https://www.mindtools.com/pages/article/reflective-cycle.htm>

Gibbs Reflective Cycle



実務家がトレーナーである場合、トレーニングのすべての段階において、トレーニーに同じサイクルの質問をすることが必要です（コルブのラーニングサイクル。「ここで何が起こったのか」「それについて何を感じたのか」「そこから何を学んだのか、あるいは何を得たのか」「それは私がすでに知っていることや研究が教えてくれることとどう結びつくのか」「では、ここから得られる重要な学習メッセージは何か」「これは今後、私の実践にどう影響するだろうか」）。

- コーチングとフィードバック。MI コーチとして時間を割いてくれる人を特定し、地域のコーチグループを組織する必要があります。あなたは、MI コーチのためのトレーニングコースを設定し、継続的なサポートを提供したいと思いませんか。すでに述べたコーディングツールは、コーチングのための枠組みとして使用することができる。

D. 計画

コミュニティは今どのようなステップを踏み、
どのように将来の目標に向かうことができるだろうか？

最初のステップ

計画を立てる。計画のテンプレートはたくさんありますが、ロジック・モデルに目を通すとよいでしょう。<http://evaluationsupportscotland.org.uk/resources/127/>

<https://mycommunity.org.uk/resources/logic-models-and-templates/>

あなたのビジョンは何ですか？

短期的、長期的に何を変えたいですか？どのようなタスクが達成される必要がありますか？

どのようなイベントを開催したいですか？

誰が参加するのか？

どのように参加者を確保しますか？どのように働きかけるか？

どのように評価するのか？

責任とタイムスケール

いつ、誰が、何をするか？

リソース

何が必要ですか？

何が利用可能か？あなたの長所や強みは何ですか？

地元や地域の機関や組織からの支援はいかがでしょう

どのように資源を調達できますか。

E. あなたの地域社会を評価する

あなたの地域社会がどのように進んでいるかについて考えることは、価値がある。その成果は何であり、何が問題であろうか？これは何を意味するのか？

F. MINT に参加するための道筋は？

MINT に参加したい人は、まず MINT のトレーニングに参加する必要があります。そのためには、MI 面接の記録と、優れた MI 能力を証明する実践の分析を提出する必要があります。その後、毎年開催されるフォーラムに参加し、MI に関する議論や MINT のガバナンスに様々な形で関与することができます。MINT は最近、MINT が承認した MI トレーナーの認定プロセスを確立しました。

もし学習コミュニティのメンバーが、より正式に MINT に加盟したいと感じた場合は、

admin@motivationalinterviewing.org または Motivational Interviewing Advisory Committee

miac@motivationalinterviewing.org に連絡してください。所属グループが正式な支部である必要はありません。

また、グループメンバーに MINTies が多数いる場合は、運営グループまたは運営委員会を結成して、正式な MINT 支部になるための申請書を提出することもできます。この申請書と関連する規約は、MINT のガイダンスに準拠する必要があります。MIAC 委員会 (Motivational Interviewing Advisory Committee) のメンバーが支援とサポートを行います。申請書がすべての基準を満たしていれば、MIAC は MINT 理事会に対して支部の承認を勧告します。

支部は、その地域における動機づけ面接の実践の代弁者として、MINT によって正式に承認される唯一の地域組織です。投票権を持つメンバーは MINT の正会員のみですが、すべての支部は MINT 以外のメンバーにも働きかけることが奨励されており、MINT 以外のメンバーも多くいることになります。

G. 国際的なコミュニティーの一員であること

世界各地から集まった MI 実践者、トレーナー、思想家と出会うことは大きな喜びです。全員が微妙に異なる見解と実践を持ち、MI 実践とトレーニング実践の豊かな発展に寄与している。困難な時期に、多くの場所で MI の精神の原則を生き、実践している人々がいることを知ることは、信じられないほどの安らぎを与えてくれるものである。そして、出会い、アイデアを共有することは素晴らしいことである。

H. 付録

1. MI MINT Nordic & MINT Ned に参加した際のエピソード

- a. ポーランド
- b. キューバ
- c. ジャマイカ
- d. トルコ
- e. カタール、ドーハ、ナウファル病院

2. 個人的な体験談 「MINT の一員であることが私にとって意味すること」 / 「MI ラーニングコミュニティの一員であることが私にとって意味すること」。

3. 主な参考文献

Miller, W. R., & Rollnick, S. (2012) *Motivational Interviewing: 変化に対する人々の準備* (第3版). New York: Guilford Press.

Rollnick, S., Miller, W., Butler, C. (2008) *Motivational Interviewing in Health Care* (ヘルスケアにおける動機づけ面接). ギルフォード・プレス

Rosengren, D. (2017) (第2版) *Building Motivational Interviewing Skills: a Practitioner Workbook*. ギルフォードプレス

Tober, G., Raistrick, D. (eds.) (2007) *Motivational Dialogue: 動機づけ面接の実践のためのアクション専門家の準備*. ラウトレッジ

マチュリッチ, ビル. (2010) *動機づけ面接のやり方. 初心者のためのガイドブック* Amazon 電子書籍 <http://www.amazon.com/How-To-Motivational-Interviewing> ガイドブック-ebook/dp/B00B3WGSVE

4. Equality and Diversity guidelines <https://motivationalinterviewing.org/>

5. 明確に伝えるためのガイドライン (GROAN) <https://motivationalinterviewing.org/>

1. MI に参加したときのエピソード

a. MI コミュニティの立ち上げ

-ポーランドのケーススタディ

ポーランドでは、Iga Jaraczewska がすべての始まりだった。彼女は偶然に MINT のホームページを見つけ、3回のトライアルの後、TNT (training of New Trainers Workshop) に参加することができた。

当初は、登録日などの仕組みがよくわからず、3回ほど登録に失敗したそうです。しかし、TNT 委員会のリック・ベスは、「この人はすでに3回トライしているし、低開発国の人だから、チャンスあげよう」と気づいて、イガは TNT の 41 番目の参加者として受理されたのです。

TNT と MINT フォーラムに参加した後、彼女は自分の国で MI と一緒に仕事をしようと思いました。その時、ポーランドでは MI があまり受け入れられていないことに気づきました。それは「単純すぎる」のである。心理学者たちは、もっと洗練された、複雑で、うまくいくことを信じるためのものを必要としていたのです。イガは、今がその時ではないと感じ、MI を行うのをやめ、何年かはセラピーを全く行わなくさえなりました。何年か他の分野で仕事をした後、彼女はもう一度やってみようと思いました。

彼女は、1つのワークショップだけでなく、2年間で10回のワークショップをデザインしました。各

ワークショップには、スーパービジョンとコーチングが含まれていました。そして、それは成功しました。研修生は、MI に没頭し、新しい心の状態を開発する機会を得ました。

そして、MI が普及し始めたのです。10 年前の 2008 年、イガは他の MI 実践者とともに、ポーランド動機づけ療法協会 (Polskie Towarzystwo Terapii Motywującej PTTM) を設立し、毎年、MI に関する会議を開催しています。現在、協会には 150 人以上の会員がおり、特に一連のワークショップの参加者 (私たちはこれを MI の学校のようなものだと考えています) から、その数は常に増え続けています。

ポーランドからのアドバイス

- 今が、あなたのコミュニティにとって、MI を導入するのに適した時期かどうかを確認し、感じてください。

- どのように始めるかを決め、それを試してみる。もしうまくいかなければ、他のことを試す。他の MINTies に相談する、うまくいきそうなことをする、他のアイデアを出す。

- MI を広めるのに最も良い方法は何かを考える - ワorkshop (どのような、長さ、知識と技術のレベル、誰に対して)、会議、記事、Web ページ、FB ページ、メーリングリスト、スーパービジョン、ピアスーパーフィクション、MI のコーチングやコーディング、MINT や他の協会の地方支部が良いかもしれない。

- 誰と一緒にやるか - 自分と同じように考えている人を見つけ、コミュニティの始まりとする。

b. キューバの話

この物語は、ダブリンで開催された MINT フォーラム 2018 で、Lucia Galleno が Zoom でのライブストリーミングを通じて発表したものである。

これは、MI への強いコミットメントと、ラテンアメリカを通じての情報と実践の普及のために、人々が集まってきた話です。ロシアをはじめとする MINTies は、ビル・ミラーを通じてラテンアメリカの人たちと連絡を取り合うことになりました。次に、現地の MI 実践者がコミュニティとして発展し、MINT に参加できるようにするため、キューバで現地研修とコーチングの一貫したプログラムを提供し、実施することを検討することになった。現地ではすでに、薬物乱用に取り組む人々のためのキューバ人 MI 関係者グループが組織されていた。

彼女は、これは長いプロセスであることを強調した。そして、関係するグループの形成とグループのプロセスが非常に重要であることを強調した。この場合、彼女はまず翻訳者のグループと関わり、次に事前研修と研修のグループと関わりました。そして、最終的にはペルーでの合同研修を実施しました。

どのような教訓を得たのでしょうか？

関係者は、プロフェッショナルとしてだけでなく、個人的にも MI を生きなければならない。何を達成したいのか、明確な目標を持っていなければならない。同僚、上司、家族などからの多くのサポートが必要かもしれない。

関係者は、どれだけの努力が必要かを知る必要があります。資料の翻訳には、時間的な制約があります。みんなとても忙しかったので、週末にスカイプや、料理をしながら、あるいは移動中に行うことが多かったですね。

ワーキンググループを立ち上げるのは、必ずしも簡単なことではありません。異なる視点や言語が関係しますし、誰かがグループに加わることで、これまでの人間関係も変わってしまうかもしれません。グループが適切に形成された後、彼らは効果的に協力し始めることができます。

MIを学び実践することへの関心と献身を維持するためには、文化的・個人的特質を深く理解し、指導者と参加者がそれぞれのペースでMIを学ぶことについて同意したりしなかったりすることが必要である。

各メンバーの強みを生かす!

どうする？

提案： 文化的特質、課題、動機についてもっと認識する。

学習スタイルに気づく。継続的なコミュニケーションにおいて、プロフェッショナリズムと楽しさを融合させる方法を見つけること。

彼女は、グループがより広いMIコミュニティとコミュニケーションをとり、対話をする機会を持つことを望んでいます。彼女は、彼らが他の人からの洞察を得るだけでなく、物事をどのように認識しているかを発表できることを望んでいる。彼女は、訓練を受けたMI実践者がこの広いグループとつながることができるようになることを望んでいる。自分の役割は、彼らが勇気を出して手を差し伸べられるようにすること、そして、他の人々とつながることができるようなコミュニケーションのチャンネルを作ることだと考えています。

MINTは、フォーラムでの発表や、直接会えなくてもつながることができるような機会を提供することで、支援することができる。彼女はMINTに、さまざまな国でMIに関する重要な会話をする勇気を与えてほしいと願っています。

c. ジャマイカの物語

ジャマイカ・ストーリー - ジョイ・クロフォード

Joyはジャマイカ初のMINTieで、2018年にダブリンで開催されたMINTフォーラムで、MIに参加し、ジャマイカの新しい学習コミュニティが発展したストーリーをビデオで発表しました。

MIで何を得ようと思ったのですか？

5年前、HIVの危険にさらされている人たちを対象に活動していた他の15人の実践者たちとともに、ジョイは地元の保健省から、アメリカの会社が提供するMIのオンライントレーニングに参加するよう誘われました。修了したのは3名だけで、MIに積極的に関わるようになったのはJoyだけでした。その後、彼女はコーチングを受け、さらにトレーニングを受け、最終的には奨学金を得てモンリオールに行き、MINTieとしてのトレーニングを受けることができました。彼女がMINTieに参加した理由は、次のようなものでした。

クライアントの行動変容をサポートできるような、別の会話スタイルを探求したかったからです。彼女は何年も行動変容のためのカウンセリングを行ってきており、何か新しいことをしたかったのです。態度の変化を重視し、人々が自分自身の変化を本当に自分のものにすることが好きだった。

学問的な経験がほとんどない地域のコミュニティワーカーである彼女のチームに教えられるようなスキルを持ちたいと考えていた。MIは完璧に思えました。

グループはどのように始まったのですか？

カナダから帰国したジョイは、同じように医療に携わっている3人の医療従事者をグループに招きました。彼らは、MIやMIトレーニングに強い関心を示していた人たちだった。彼女は、熟練した医療従事者の核を作りたかったのである。そして、彼らにMIのコーチングとトレーニングを行い、最終的にはMINTiesになってもらいたいと考えていました。彼女はMI感化セッションを実施し、3回のMIトレーニングを実施しました。そのため、2018年10月、ジャマイカでは40人がMIのトレーニングを受け、全員がセクシャルヘルスの領域で活動しています。これらの人々は、男性とセックスする男性、性的虐待の生存者、トランスジェンダーの人々、商業セックスワーカー、HIVとともに生きる若者や女性などのグループと一緒に働いています。彼女は、トレーニングの中でMIを「ジャマイカ化」しました。彼女は現在、多くのスキル練習を含む3日間の対面式MIトレーニングモジュールを提供している。その後、彼女は参加者を5ヶ月間指導し、その後、1日の「ブースター」に参加させる。これは、その段階での実践者集団との交流、学んだ教訓、ベストプラクティスに焦点を当てたものです。

課題は？

MIは多くの人にとって新しいものであり、関係者の賛同を得る必要がある。

MIは特定の機関には属さず、資金も限られています。しかし、関心は高く、チームトレーニングを希望する組織は増えています。

何が役に立ちましたか？

MINTieになったこと、そして世界中のMIトレーナーの仲間に出会えたことです。MIツールにアクセスできるようになったこと、オンラインで会話に参加できるようになったこと、多様性委員会に参加してMINTで活動するようになったことです。彼女は、アイデアやリソースを共有し、フィードバックをくれる素晴らしいMINTのメンターから多大な援助を受けています。

これからは？

ジョイは、MINTがカリブ海にもっと焦点を当てることを望んでいます。彼女は、この地域のコミュニティを強化するための支援を望んでいます。また、世界中の他の分野や環境においてMIがどのように実践されているかを見に行きたいと考えています。カリブ海諸国が独自のMIを持ち、世界中のMIにどのような影響を与えることができるかを探りたい。MINTとの継続的な関わりを持ち、いつかカリブ海でMIフォーラムを開催したいとのことである。MINTは、有意義な参加の機会を提供することができ、ビデオとともにフォーラムで話すよう招待されたことは、その一つである。

d. トルコの話

トルコ：Ertugrul Koroglu 教授

Dr Ertugrul Koroglu は、2018年にダブリンで開催されたMINTフォーラムで、MINTトレーニングを修了した直後にこの話を発表しました。

Ertugrul氏は、アンカラの精神科の部長です。彼は、さまざまな精神科学会での短いワークショップに参加したり、読書をしたりすることで、MIに大きな関心を持っていました。彼は、トルコの精神科医が他にも興味を持っていることを知っていて、自分のチーム全員がトレーニングを受けることを望んでいました。彼は、読書や講義からMIを学ぶことは不可能であることを知っていたので、どうしたらよいかと考えていました。トルコにはMINTの訓練を受けたトレーナーが数人いましたが、彼の知る限

り、彼らはもう関与していませんでした。

そこでまず、他の人と一緒にミラー&ロールニックの「Motivational Interviewing」第3版を翻訳し、どうすればMIを学べるかを一緒に考えました。そして、MINTの理事会に連絡し、理事会からMIAC (Motivational Interviewing Across Continents) 委員会に依頼があったのです。そして、eforumを通じてトレーナーの募集が行われ、その結果、トルコにトレーナーを派遣し、精神科医のグループにコースを提供する契約を結ぶことができたのです。このコースは、彼がこれまで参加した中で最高のものであり、彼がMINTieになるきっかけとなった。彼は今後、このMINTieと共同でトレーニングを担当し、翻訳を行い、トレーニングにトルコの視点を提供できるようになります。

d. ナウファル、カタール

Naufar病院は、国家的な問題である精神作用物質治療センターです。新しいスタッフで構成され、ヘルス&ウェルビーイングのコンセプトが適用されているため、個人は患者ではなくゲストと呼ばれる、まったく新しいベンチャー企業です。この病院は、カタールの首長による新しい政策と推進の結果です。カタールにアルコールや薬物の問題が存在しないことを否定せず、法の執行や投獄といった刑事司法的なアプローチだけでなく、治療ルートとして健康と福祉に配慮したアプローチをとるということです。Rik Besと私は、Naufarの実務家のために動機づけ面接を行うよう依頼され、Naufarの実務家のために動機づけ面接を行うよう依頼されました。

リック・ベスと私は、ナウファルの実践者のために動機づけ面接を行い、MIの能力と研究を発展させるための長期計画を可能にするためにアプローチしました。私たちは英語でのトレーニングを行ったが、アラビア語のMINTeeメンバーであるNady Sefirも、Naufarのアラビア語を話す人々のためにアラビア語のMIトレーニングを開発した。Denise ErnstとClive TobuttはMITIのコーディングトレーニングを実施し、現在ではNaufarでコーディングとMI能力のサポートを行うチームが存在する。

現在では、NaufarのMI習熟のためのコーディングとサポートを行うチームがあります。MITIはアラビア語に翻訳されました。Naufarの学習コミュニティはまだ発展の初期段階にあるが、MIに関するチームのトレーナーを継続的に育成し、カタール国内でさらなるトレーニングを展開できるようにすることが計画されている。

e. スコットランドのMIコーチグループ

Scottish MI Coach Groupは、NHS Education Scotlandが心理療法プログラムの一環として設立した実践のネットワークである。これは、毎年'Winter Schools'として基本的なMIおよびより高度なMIトレーニングの実施を支援し、また、スコットランド全域からMIコーチになる実践者を募集するものである。毎年コーチングスクールが開催され、その間にコーチはMIコーチグループを運営することにより、それぞれの地域でMI実践者を支援することが期待されている。

2. 個人の体験談

「MI学習コミュニティの一員であることが私にとって意味するもの

ガバの話 (ガブリエラ・ヤニシェフスカ、ポーランドのMI実践者・セラピスト)

私が初めてMIに出会ったのは、賢明な義理の母が連れていってくれたのだと言えます。義母は、ソーシャルワーカーの研修でMIを学んだそうです。彼女は、私が心理学に興味があり、また3人の子供のやる気を引き出すあらゆる方法に興味があることを知っていたので、絶対に気に入ると思っていたのです。彼女は間違っていないと思います。MIに出会う前の私は、35歳の3児の母で、自分の人生をど

うしたらいいのかわからないでいました。私は英語の教師で、学校で教えることも好きでしたが、その仕事は私に翼を与えてくれず、自分の最大の才能を発揮できない、誰かのスキーマに合わせなければならない、と感じていました。研修中に心理療法という新しい世界があることを知り、それを発見することに大きな喜びを感じました。さらに、私は良いセラピストになる素質があると聞きました。ここで言うおきますが、私は医者にならなかったことを何年も後悔していました。それ以来、心理学は私を驚かせ続けています。それ以来、心理学は私を驚かせ続けています。すべての研修と講義は、私にとって喜びであり、新たな考察の糧となっています。現在、私はモチベーション・セラピストの資格を取得し、まもなく2回目の修士論文を提出する予定です。また、心理療法の実践を開始する予定です。

しかし、これらの変化はすべてMIで始まったのです。私にとってMIで最も重要なことは、他の人間に対してオープンであることです。誰もが自分の中に持っている知恵と善を信じること。彼らの考えやアイデアのためのスペースを作ること。MIによって、私はありのままの自分を受け入れ、自分の考えが良いものであり、従う価値があることを認めることができました。MIは、私に新しい道に挑戦する勇気を与えてくれました。同時に、MIは私を強くブロックしていた恐怖心を静めるプロセスを開始しました。MIを学ぶ過程で、私はジャッジメントをしないことを大切にしました。評価が必要で重要だと確信していた教師から、私は、成績が知識を得るための最大の障害のひとつだと考える人間になってしまったのです。しかし、人生において何が重要かを発見するプロセスがあるのです。より良い、より賢い人間になるための継続的なプロセスがあるのです。そのプロセスは直線的ではなく、時には前進するために戻らなければならないこともあります。MIはそのためのスペースを残しています。しかし、何よりも重要なのは、MIが私にとって非常に身近な2つの価値観、すなわち、他人に対する尊敬と好奇心に基づいていることです。

"MINTの一員であることが私に意味するもの"

ゲンの話 (沼口元 Ph.D 臨床心理士 ニュージーランド人)

私は1960年代、両親がアメリカに住んでいる間にニューヨークで生まれました。私の世代までは、家族全員が日本で生まれ、日本に住んでいました。私は東京で育ち、10歳のときに家族でアメリカに戻りました。私は英語も日本語も流暢です。1999年にユタ大学で心理学の博士号を取得したのをはじめ、大学で学んだことはすべてアメリカで行いました。ユタ州モアブの非常に田舎の地域精神保健の場で働いていたとき、2005年頃に初めてMIに触れました。最初は上司が送ってくれたトレーニングの一つに過ぎませんでしたが、多くのMINTiesが共感してくれるように、私はすぐに「夢中」になりました。アメリカにいる間にTNTに応募する予定でしたが、人生の転機が訪れ、2010年に妻と2人の子供と一緒にニュージーランドのクイーンズタウンに引っ越すことになりました。

現在の勤務先であるSouthern DHBで数年間MIワークショップを行った後、次のステップとしてTNTを受けるように勧められました。皮肉なことに、2014年にTNTをするためにアメリカ(アトランタ)に戻りました。TNTは素晴らしい経験で、ニュージーランドに戻ってからは、幸運にもMIオセアニア結成のスタートプロセスに参加することができました。この4年ほどはMIオセアニアの役員として参加していますが、小さいながらも成長している支援コミュニティの一員であることがとても気に入っています。これまで地元で何度かシンポジウムを開催してきましたが、近い将来、私たちの住む地域でより大きなMINTイベントを開催したいと考えています。さらに当面の目標は、MINTの支部と

なることです。比較的小さな組織であるため、オーストラリアとニュージーランドの各地に拠点があるにもかかわらず、仲間にとっても親しみを感じ、支えられていると感じています。

グローバルな MINT の一員になることで、この気持ちはさらに強くなりました。私にとっては、プロフェッショナルなコミュニティというだけでなく、家族の一員であるかのようなようです。MINT の委員会に参加し、世界中から集まった同じ志を持つ人たちと一緒に仕事をすることができました。MINT には、MI を特別なものに行っている明確な目的意識と「精神」の共有があるのです。

試訳：deeple で行いました

誤訳を見つけた方は、MIAC または本試訳配布者へご連絡ください。

試訳 Ver0.2023